

別紙

質 問	回 答
<p>(1) 委員長の選出について</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・昨年度の本委員会において、事務担当大学から選出されている委員が委員長を務めることとなったため、委員長を蒲生委員にお願いしてよいか。</p> <p>(2) 京滋地区4国立大学法人において発注した建設工事について</p> <p>(3) 京滋地区4国立大学法人において発注した設計・コンサルティング業務について</p> <p>(4) 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務における抽出結果について</p> <p>(5) 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>・各大学から抽出案件について説明をしていただく前に今回、案件のなかった滋賀大学から一言お願いしたい。</p>	<p>(委員一同承諾)</p> <p>・資料に示すとおり、今回は点検事項に合致する契約がなかったため、本日は、勉強の場とさせていただきたい。</p>

別紙

質 問	回 答
<p>京都教育大学：藤森団地等非構造部材改修工事</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、今回の業者と契約を締結することになったのか、契約締結に至る過程について、もう少し詳細に説明していただきたい。 ・それは、業者の好意で受注してもらったということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本案件は、当初、一般競争入札に付していたが、結果として応札者は契約締結を行った業者一者にとどまり、かつ、予定価格に達しなかったことから、当該業者と折衝を行うこととした。また、附属学校は工事に緊急を要していた一方、大学は年度末までの完了を予定していたため、本学契約規則の「緊急を要する場合」に該当する事項として当該業者と随意契約を締結したものである。 ・そうではない。当初入札で予定価格に達しなかった主たる原因が、講堂の規模や構造上の複雑性にあったことが判明し、人件費や材料価格も含め講堂部分の予定価格を再検討することが必要と考えられ、工期の観点からも、講堂とそれ以外の部分に分けざるを得なかった。結果的に交渉及び再度の入札を通じて同一の業者に決定されたものである。

別紙

質 問	回 答
<p>・本案件は大学の契約規則における「緊急を要し、競争に付することができない場合」に該当することから、不落随意契約を実施したとのことであるが、その意思決定を示す根拠は文書として残っているか。</p>	<p>・契約手続きはすべて本学の会計規程、契約規則に則って実施しており、契約事務責任者の承認を得た決裁文書は保管している。</p>
<p>・三者のうち、二者が辞退したとのことだが、なぜ、辞退することになったのか、理由を把握しているか。</p>	<p>・辞退者に辞退理由を確認したところ、別工事を受注した結果、監理技術者や主任技術者を配置できないということであった。当時は、非構造部材改修工事が全国規模で進められていたこともあり、業者の需要が相当、高い状況でもあった。</p>
<p>・他大学の施設課と契約の見通し等について、情報のやりとりをすることはできないのか。</p>	<p>・現在、文部科学省の契約情報室が文教施設関連工事の情報をホームページで公開しているが、談合防止の観点から業者名までは、把握できない。</p>
<p>・競争参加資格はどのように設定されているのか。</p>	<p>・学内の競争参加資格等審査委員会において審議を行った上で案件ごとに競争参加資格を決定しているが、質の確保を踏まえながら、極力、参加資格を拡大するよう留意している。</p>
<p>・二分した後の講堂部分の予定価格はどのように設定されているのか。</p>	<p>・資料 2 に予定価格を示している。</p>

別紙

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・二分割後の予定価格の合算額と当初の予定価格に大分、開きがあるが、工事内容は変わっているのか。 ・二回目の入札も結果的に不落随意契約となったのか。 ・施工は完了しているのか。 ・今後、このような事態に対応するための対策は考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容は変わっていない。当初の予定価格は見積書を精査したうえで、作成したが、講堂の天井部分施工にかかる足場などの費用の見積もりが不十分であった。また、予定価格積算時に比べ鉄骨材料や工賃の高騰もあり、予定価格との乖離が生じた。講堂部分以外は予定価格の範囲内で収まったものである。 ・そうである。 ・当初予定どおりに完了している。 ・やはり、質の確保を前提としつつ、競争参加者を増やしていく以外にないと思われる。ただし、今年度についても競争参加者数は適切な数を確保できしており、他と比べても、この案件は、特に参加者数が低い状況にあったと捉えている。ただし、毎年、検証は行いたい。

別紙

質 問	回 答
<p>京都工芸繊維大学：(松ヶ崎) 温室改築 工事</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目から5回目の金額の推移はどうなっているのか。 ・ 入札書のやりとりはどのように行っているのか。 ・ それは、時間的にどの程度か。 ・ 入札額の決定には関与していないという理解でよいのか。 ・ 第一回目の入札で参加者が一者しかないということはあるのか。 	<p>(別紙7の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子入札で行っており、設定時刻になると発注者が入札金額を確認できるようになっている。その結果、予定価格に達していない場合には、参加業者に電話にて、その旨、連絡するとともに、再入札の締め切り時刻を伝えている。 ・ 10分程度としている。 ・ 初回の入札については、内訳書が届くため、概要を把握することは可能だが、再入札以降はわからない。 ・ 業者の画面では、他の入札者の数等は把握できないと思われる。

別紙

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者間で辞退の有無はわかるのか。 ・電子入札システムで他者の入札価格はわかるのか。 ・そのシステムは大学のサーバ中に設置されているのか。 ・入札回数に上限は定めているのか。 ・京都教育大学はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・談合防止の観点から、参加者間ではそれらの情報は把握できない。 ・業者の画面を見たことがないので、はっきりとはわからないが、最低価格で応札した者は自社が最低価格であるという事実とあわせ、予定価格に達しているか否かは把握できるはず。最低入札価格で応札しなかった参加者は、最低入札価格でないということと、現在の最低入札金額が分かるはずである。 ・文部科学省が推奨しているシステムであり、大学内には設置していない。同システムは、現在、ほぼすべての国立大学が利用しているはずである。 ・定めていない。 ・本学も2回を原則としているが、昨年までは実際、4・5回行っていた。今年からは、2回で打ち切っている。

別紙

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・完了時の検査も施設課で行っているのか。 ・本工事の検査結果はどうであったか。手直しとかはあったか。 ・参加資格の条件緩和をしたとのことだが施工品質への影響はなかったか。 ・無条件に条件を緩和するというよりも内容に応じて緩和しているのか。 ・少額工事ではあるが、予定価格と当初の入札価格が乖離していた原因は何かあるのか。 ・入札の上限を2回としているのであれば、2回を超える場合は具体の判断基準があった方がよいのではないか。 ・再入札をするかしないかは現場で、臨機に対応しているのか。 ・抽出案件の内容に問題はないと考えられるが、今回の記録をもとに共通理解を図って頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。 ・いくつかの手直しはあった。 ・特に問題は生じていない。 ・そうである。 ・原因はないと考えている。 ・2回という回数は原則と捉えており、上限については、状況を見極め柔軟に判断している。 ・執行者である担当課長の判断で実施している。 ・(担当者了承)

別紙

質 問	回 答
<p data-bbox="225 465 783 555">滋賀医科大学：附属病院 MRI-CT 施設等改修電気設備工事</p> <p data-bbox="347 629 660 667">(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="225 730 783 864">・資料 5-3「入札状況等」の欄についてもう少し詳しい説明をしていただきたい。 <li data-bbox="225 1115 783 1249">・当初の価格と契約価格に大分開きがあるが、なぜ、そのような差が生じたのか。 <li data-bbox="225 1592 783 1727">・夜間作業について発注者と受注者の間で不一致があるとのことだが、その点は改善に対する具体案はあるか。 <li data-bbox="225 1787 783 1825">・参加者が少なかったのは何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="810 730 1369 987">・再入札を行ったが、不調に終わったため、最低価格を提示した業者に対して不落随契の協議を行ったところ予定価格以下の見積提示があったため契約に至った。 <li data-bbox="810 1115 1369 1541">・本事業は病院の改修工事であり診療を継続しながら工事を行う事が前提であるため、夜間作業や休日作業が発生する。その点について大学が把握している現状と業者の想定に乖離があった。業者がその点について適正な金額に見直しを行ったところ予定価格以下となった。 <li data-bbox="810 1592 1369 1727">・夜間作業がある旨、仕様書や図面には明記しているが、改善に向けて検討したい。 <li data-bbox="810 1787 1369 1928">・応札者が少ないということは、想定していなかった。同じ条件で同日に公示した建築と設備工事については、そ

別紙

質 問	回 答
<p>・積算条件はおかしくなかったのか。</p> <p>(6) その他</p> <p>・仕事を増やしてしまうかもしれないが、一部の大学に付けられていた入札顛末書というか、入札の経緯がわかる資料を共通のフォーマットで添付してもらえればありがたい。</p> <p>・次回からそのようにお願いしたい (委員長)</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・次年度は、事務担当大学が京都工芸繊維大学になるため、京都工芸繊維大学から次回会議の委員長を選出するという前提で、進めさせて頂いてよろしいか。</p> <p>・添付もれのあった書類をどのように提出すれば良いか(滋賀医科大学)。</p> <p>— 以下余白 —</p>	<p>れぞれ3者の応札があるので、工事内容から考えて利益が少ないと業者が判断した可能性がある。</p> <p>・文部科学省の積算基準や最新の見積書等を用い適正に算出している。</p> <p>・(各大学施設担当者了承)</p> <p>・(委員一同承諾)</p> <p>・別紙4のみを後日、議事録に添付していただければ構わない(委員より応答)。</p>